

# 令和6年度事業報告書

令和6年度は、事業計画に基づき、全国社会保険労務士会連合会（以下「連合会」という）と密接な連携を図り、適切な連絡・指導のもとに

- I. 事業環境の急激な変化と新たな局面に対応した社労士業務の推進に関する事業
- II. 事業環境の変化に適合できる専門能力の向上に関する事業
- III. 業務侵害行為の防止に関する事業
- IV. 社労士の専門能力を活かした社労士の社会的使命の実現と社会貢献に関する事業
- V. 行政機関等との連携に関する事業
- VI. 社労士制度の改善に関する事業
- VII. 広報を始めとする各種事業
- VIII. 上記、I～VIIを支える組織機能・基盤の強化を実施した。

## (1) 令和6年度長崎県社会保険労務士会会員数

	令和6.3.31 現在会員数	令和6年度		区分変更者数		令和7.3.31 現在会員数
		入会者数	退会者数	増	減	
開業会員	121	7	2	4	4	126
法人の社員	11	2	0	0	0	13
勤務等会員	72	6	2	4	4	76
計	204	15	4	8	8	215
法人会員	10	2	0	0	0	12

## (2) 支部別会員内訳

	県南支部	県央支部	県北支部	合計
開業会員	68	34	24	126
法人の社員	9	0	4	13
勤務等会員	44	17	15	76
計	121	51	43	215
法人会員	8	0	4	12

## (3) 特定社会保険労務士会員数

	県南支部	県央支部	県北支部	合計
開業会員	24	16	8	48
法人の社員	5	0	2	7
勤務等会員	7	3	2	12
計	36	19	12	67

# 事業報告

## I. 事業環境の急激な変化と新たな局面に対応した社労士業務の推進に関する事業

### 1. デジタル化推進に関する事業

(1) デジタル化推進委員会を中心に、下記事業を実施した。

①他県会が実施する DX フェアやデジタル化研修会の案内周知を行った。

②研修会等の機会を通じて SRP II 認証の取得促進を図った。

(2) 連合会デジタル推進本部の推進委員として、引き続き当会デジタル化推進委員 2 名が協力した。

### 2. 社労士による労務監査業務の推進に関する事業

連合会が実施している社労士診断認証制度について、会員への周知広報に努めた。

また、他県会が主催する「ビジネスと人権研修（上級編）」について、会員へ受講勧奨を行った。

## II. 事業環境の変化に適合できる専門能力の向上に関する事業

### 1. 社労士の品位保持に関する事業

5年に一度、全会員に受講が義務付けられている倫理研修は、令和7年2月から3月までの2ヶ月間、eラーニング形式で実施した。連合会から受講状況の情報提供を受け、随時確認を行い、未受講者への受講勧奨に努めた。

### 2. 研修に関する事業

#### (1) 長崎県会主催の研修

実施日・場所	研修会名・内容	講師	参加者数
R6. 6. 11 (火) 県会研修室 (ハイブリッド)	令和6年度65歳超雇用推進助成金等説明会	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部	21名
R7. 1. 9 (木) 長崎市立図書館	令和6年度安全管理研修会 ①介護職員処遇改善加算の実務 ②安全衛生管理研修	①県北支部 末永訓弘会員 ②県央支部 篠崎成吾会員	23名
R7. 2. 7 (金) 長崎市立図書館 (オンデマンド)	働き方改革研修 (医療分野) ～医療業界の働き方改革にどう対応していくか～	オスカー社会保険労務士法人 代表社員 小川美也子氏	64名
R7. 3. 15 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	①令和6年度新規入会者必須研修 ②開業準備研修	①副会長 山内小百合 事務局長 山口美香 業務推進委員長 堀江武志	①8名 ②9名

		政連会長 萬屋隆之 SR 事務局長 吉田実幸 ②研修委員長 大坪孝聡 研修委員 三浦恵理子 研修委員 榮 紀祥	
--	--	---	--

(2) 業務領域拡大のための研修

実施日・場所	研修会名・内容	講師	参加者数
R6. 11. 28 (木) 県会研修室	第 6 回介護事業労務管理研修	県南支部 堀江武志会員	8 名

(3) 九州・沖縄地域協議会が主催する研修

実施日・場所	研修会名・内容	講師	参加者数
R6. 9. 27 (金) 八仙閣 (オンデマンド)	第 52 回研修 人手不足における、人材定着のための 職場づくり～Z 世代に嫌われる上司 嫌われない上司～ (社労士対応編)	H・R サポート代表 加藤京子氏 (東京会会員)	138 名 (長崎 10)
R6. 11. 15 (金) グランデはがくれ (オンデマンド)	第 53 回研修 社労士が実践する人材不足解消策 ～労務管理アドバイス+α の顧問先 への関わり方～	社会保険労務士事務所 エスパシオ代表 下田直人氏 (東京会会員)	136 名 (長崎 8)
R7. 2. 28 (金) ワンステーション ホテル熊本 (オンデマンド)	第 54 回研修 自律型社員を育てる組織行動マネジ メント ～人手不足時代の生産性向上戦略～	社会保険労務士法人 HABITAT 代表 榎本あつし氏 (東京会会員)	115 名 (長崎 13)

(4) 自主勉強会 (年金部会)

実施日・場所	内容	講師	参加者数
R6. 5. 25 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	①共済組合からの額改定通知書・年金 支払通知書や国民年金基金の振込 の端数処理はどうなっているのか ②地方公務員共済組合の年金証書の イメージ図 ③年金事務所で発行される共済組合 の年金見込額のテンプレートのイ メージ図 ④共済組合からの年金と日本年金機 構からの年金を別々の金融機関に 振り込みたいが、どうすればよいか	世話人 徳本 剛会員	14 名
R6. 7. 20 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	障害年金請求書はどのような理由で 障害年金センターから返戻されるの か ①障害年金請求書の返戻は大きく分 けて 2 種類ある。	世話人 有村正宏会員	16 名

	②障害年金請求書受付時の留意点		
R6. 9. 28 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	障害給付の概要および初診日の考え方について ①障害年金の3つの支給要件 ②支給される障害年金の種類 ③障害年金の給付体系 ④障害年金のおもな請求パターン ⑤障害状態の変化等による障害年金の取扱いの分類 ⑥相談から裁定請求までの一般的な流れ ⑦初診日の考え方 ⑧初診日の確認について	代表世話人 濱 忠会員	14名
R6. 11. 30 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	平成27年9月28日に厚生労働省が発出している「新認定基準の概要」の解説、初診日の確認について	代表世話人 濱 忠会員	16名
R7. 1. 11 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	①相当因果関係の考え方 ②再発または継続の考え方 ③社会的治癒の判断基準 ④保険料納付要件の基本的事項と注意点 ⑤障害状態の認定 ⑥障害年金の給付体系	代表世話人 濱 忠会員	15名
R7. 3. 22 (土) 県会研修室 (ハイブリッド)	①20歳前に初診日がある障害基礎年金の請求 ②社会的治癒を主張した障害年金請求(請求取り下げ事例) ③社会保険審査会採決例(社会的治癒が容認された事例)	代表世話人 濱 忠会員	14名

### Ⅲ. 業務侵害行為の防止に関する事業

社労士法第26条、第27条に違反する業務侵害行為の防止・撲滅を図るべく、業務監察委員会を中心に情報収集及び必要な対応を行った。

### Ⅳ. 社労士の専門能力を活かした社労士の社会的使命の実現と社会貢献に関する事業

#### 1. 街角の年金相談センター(オフィス)事業

①内容：連合会が受託した街角の年金相談センター事業について、都道府県会に設置され

た運営部として協力を行った。

②期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

③業務委託社労士：大野くにか会員、塚脇盛次郎会員、徳本 剛会員（計3名）

④実績：年間相談件数 3,948 件

2. 年金事務所における年金相談窓口業務（日本年金機構委託）

①内容：県内4年金事務所に相談員を配置して年金相談窓口業務を行った。

②期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

③協力会員：塚脇盛次郎会員、寺元弓美子会員、浦川聖子会員、銭神奈津会員  
徳本 剛会員、藤原 剛会員、松尾陽子会員、森永律子会員、竹田恵子会員、  
（計9名）

④実績：年間配置ブース数 1114

3. 介護職員処遇改善加算等取得促進支援事業（長崎県委託）

①内容：介護職員の処遇改善加算について、介護事業者等への制度周知やキャリアパス要件等に係る助言・指導を行った。

②期間：令和6年6月3日～令和7年3月31日

③広報：県会ホームページに案内を掲載し、PRリーフレットを配布した。

また、コーディネーターが事業所へ架電し、支援申込みの勧奨を行った。

④協力会員：大塩泰義会員、小林義人会員、梅澤 浩会員、小瀬良 清会員、小玉 亨会員、  
末永訓弘会員、堀江武志副会長（コーディネーター）、  
山内小百合副会長（コーディネーター）（計8名）

⑤実績：支援回数／介護事業所 54 回（27 事業所）、福祉事業所 28 回（13 事業所）

4. 総合労働相談所・年金相談センター事業

①内容：毎週水曜日 13：30～16：00 に無料相談を実施

②運営体制：相談員 7 名（後掲）

③実績：相談件数及び相談内容は下記のとおり

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.いじめ・嫌がらせ											1		1
2.自己都合退職													0
3.解雇		4				1							5
4.労働条件の引き下げ													0
5.退職勧奨						1							1
6.雇止め													0
7.出向・配置転換			1										1
8.雇用管理等	1						1		1		1	1	5
9.募集・採用		1											1
10.採用内定取消													0
11.その他の労働条件					1			1	2	1			5
12.その他	2	1	1	3	2	2	4	7	6	4	2	3	37
計	3	6	2	3	3	4	5	8	9	5	4	4	56

## 5. 社労士会労働紛争解決センター長崎

- ①運営体制：運営委員 4 名、あっせん委員候補者 4 名、弁護士 2 名（後掲）
- ②広報：県会ホームページに案内を掲載し、PRリーフレットを事務局で配布
- ③実績：申立件数 1 件
- ④研修：令和 7 年 1 月 31 日（金）に第 6 回佐賀・長崎合同 ADR 研修を開催  
内容／座学、実践講義（労働相談対応等）  
講師／松崎法律事務所 代表弁護士 松崎広太郎氏  
参加者／29 名（長崎 19 名）
- ⑤会議：長崎労働局主催の連絡協議会に参画（後掲）

## 6. 労働条件審査等への取り組みに関する事業

労働条件審査等推進委員会を主体として、連合会が受託した「令和 6 年度保育施設の労務監査事業」の実施に協力した。

- ①協力会員：山内小百合副会長（統括グループリーダー）、阿部高久会員、才津禎一朗会員  
藤高由起会員、荒木舞子会員、梅澤 浩会員、小玉 亨会員、篠崎成吾会員  
森 優伸会員、長濱かおり会員（計 10 名）
- ②対象施設：長崎県内の保育施設 10 事業所
- ③実施期間：令和 6 年 8 月～12 月

## 7. 学校教育に関する事業

高等学校・大学・専門学校といった学校教育の場に会員を講師として派遣し、卒業後の社会生活に必要な健康保険・年金および労災保険・雇用保険の制度概要・利用方法や労働基準法等に関する基礎知識を教示した。（計 10 回）

日時	学校名	講師	生徒数
R6. 5. 27（月）	長崎県美容専門学校	森 伸男会員	46
R6. 9. 24（火）	佐世保市医師会看護専門学校	末永訓弘会員	14
R6. 10. 24（木）	長崎歯科衛生士専門学校	塩見英敏会員	54
R6. 11. 14（木）	長崎県立北松農業高等学校	森 伸男会員	61
R6. 12. 11（水）	長崎外国語大学	吉田実幸会員	80
R7. 1. 24（金）	長崎県立波佐見高等学校	小玉 亨会員	68
R7. 2. 12（水）	長崎県立川棚高等学校	篠崎成吾会員	51
R7. 2. 14（金）	長崎県立中五島高等学校	川中裕次郎会員	13
R7. 2. 21（金）	長崎県立島原翔南高等学校	荒木舞子会員	28
R7. 2. 21（金）	長崎県立鳴滝高等学校定時制昼間部	森 伸男会員	17

## 8. 成年後見制度への対応に関する事業

- ①成年後見センターだよりを発行し、長崎県社労士成年後見センターの概要、成年後見業務に関する年間研修計画、名簿登載方法等について会員へ周知を行った。
- ②一般社団法人社労士成年後見センター福岡主催の成年後見人養成講座について会員へ周知を行った。また、同センター主催の継続研修について、センター会員へ受講勧奨を行

った。

③長崎家庭裁判所へ成年後見人等候補者名簿の提出を行った。

(名簿登載者：藤原 剛会員、大野くにか会員、森 伸男会員)

④長崎家庭裁判所主催「家事関係機関との連絡協議会」に参画した(後掲)

⑤受任件数：6件(令和6年度末時点)

## 9. その他、各団体等に関する事業

(1) ケアラー支援環境整備促進業務「ワーキンググループ構成員」

一般社団法人長崎県介護支援専門員協会から推薦依頼があった構成員について、公募を行い下記のとおり推薦した。

小玉 亨会員

(2) がん患者の就労支援事業

長崎大学病院が中心となり行っている事業について、当会の総合労働相談所の情報を提供した。(サポートブックに案内を掲載)

(3) 職場環境改善等アドバイザー

一般社団法人長崎県保育協会からアドバイザーの推薦依頼があり、公募を行い下記のとおり推薦した。

大塩泰義会員、高橋史織会員、森 伸男会員、山本 遥会員、小玉 亨会員  
篠崎成吾会員

## V. 行政機関等との連携に関する事業

### 1. 関係機関等との情報交換会の開催及び行政協力に関する事業

(1) 関係機関との情報交換会

長崎労働局及び日本年金機構長崎南年金事務所と情報交換会を開催した。(後掲)

(2) 長崎労働局「令和6年度雇用管理改善等コンサルタント」

長崎労働局職業安定部から推薦依頼があったコンサルタントについて、公募を行い下記のとおり推薦した。

大塩泰義会員、才津禎一朗会員、森 伸男会員、小玉 亨会員、末永訓弘会員

(3) 長崎労働局「労働関係紛争担当参与」

長崎労働局雇用環境・均等室から推薦依頼があった参与について、公募を行い下記のとおり推薦した。

小島次保会員

(4) 長崎県「令和6年度育児休業取得促進アドバイザー」

長崎県産業労働部から推薦依頼があったアドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。

大塩泰義会員、高橋史織会員、吉田俊哉会員、小玉 亨会員、楠本一紀会員  
長濱かおり会員

(5) 長崎市「長崎市土木部指定管理者候補者選定審査会委員」

長崎市土木部から推薦依頼があった委員について、公募を行い下記のとおり推薦した。

馬渡友明会員

- (6) 長崎市「長崎ブリックホール及び長崎市茂里町駐車場指定管理者候補者選定審査会委員」

長崎市市民生活部から推薦依頼があった委員について、公募を行い下記のとおり推薦した。

植木博路会員

- (7) 長崎行政監視行政相談センター「行政相談委員」

九州管区行政評価局地域総括評価官から推薦頼があり公募を行ったが、応募者はなかった。

2. 日本政策金融公庫との連携による中小企業支援に関する事業

本年度はセミナー講師派遣の要請はなかった。

3. 国土交通省の建設業の社会保険未加入問題への取り組み事業

国土交通省九州地方整備局主催の建設キャリアアップシステム処遇改善推進九州地方協議会に参画した。(後掲)

4. 長崎専門職団体連絡協議会への参加

8つの士業で構成されている長崎専門職団体連絡協議会の会議に参加した。(後掲)

また、令和6年11月16日(土)にメルカ築町で開催された「専門家による何でも無料相談会」について、公募を行い下記のとおり相談員を推薦した。(社労士の相談予約なし)

堀江武志副会長

5. 日本司法支援センター(法テラス)への協力事業

引き続き、法テラスへの協力を行った。

6. その他、関係機関への会議参画(後掲)

①長崎労働局「長崎県地域両立支援推進チーム」

②長崎県「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県推進会議」

③長崎県「障害のある人の差別に関する調整委員会」

④日本年金機構「長崎県地域年金事業運営調整会議」

⑤長崎県事業承継・引継ぎ支援センター「長崎県事業承継ネットワーク連絡会議」

## VI. 社労士制度に関する事業

社会保険労務士制度創設60周年に向けて、積立金の計上を行った。

## VII. 広報を始めとする各種事業

### 1. 広報に関する事業

#### (1) 会報誌の発行

①令和7年1月に「会報ながさき93号」を320部発行した。

②2か月に1回、奇数月に「社労士通信」を発行した(102号～106号)

(2) 開業・法人社員会員名簿を作製し、関係機関等へ配布した。(5月と10月、各1,050枚)

#### (3) 社労士制度推進月間事業

##### ①九州一斉無料相談会の実施

開催日：令和6年12月1日(日)10:00～16:00

開催場所：みらい長崎ココウォーク3階催事場

実施方法：対面相談

協力会員：森 伸男会員、吉田俊哉会員、吉田実幸会員、萬屋隆之広報委員長  
堀江武志広報担当副会長、篠崎成吾広報委員

相談件数：19件

広報：テレビCM(NBC)、テレビ出演告知(NBCのPint)、YouTube広告、  
長崎新聞(とととってmotto!)、長崎新聞(NR)、長崎新聞(題字下広告)  
リーフレット配布(5400枚)、県内報道各社へプレスリリース(13社)

(4) 長崎バス車外広告 令和6年4月～令和7年3月、バス2台に掲出

(5) ホームページリニューアル後のフォロー対応

(6) ポスター、リーフレット等広報媒体の配布

連合会が作製した広報ノベルティ及び社会保険労務士制度PRポスター80枚を関係機関等へ配布した。

(7) その他広報活動

##### ①新聞広告の掲出

元旦名刺広告：長崎新聞(令和7年1月1日掲載)

年頭所感広告：長崎新聞(同上)

②県下各労働基準監督署、職業安定所、年金事務所に社労士名札を掲示した。

### 2. 登録等に関する事業

社労士の登録事務、紛争解決手続代理業務の付記登録事務及び社労士法人の届出事務等を適正に実施した。また、政府が進めるマイナンバーカード利活用において、令和6年11月から登録手続のオンライン化の運用が開始されたことから、連合会が実施するオンライン説明会に参加して体制整備を行うと共に、会員への情報提供に努めた。

3. 長崎SR経営労務センターの運営・発展に協力した。

4. 連合会が実施する社労士試験事務に協力した。

5. 連合会共済会事業、社労士賠償責任保険と使用者賠償責任保険の周知広報に協力した。

6. 図書および業務用品の斡旋頒布を行った。

## VIII. 上記、I～VIIを支える組織機能・基盤の強化

### 1. 各規程の整備状況

#### ①新たに制定、施行した規程等

- ・年金事務所における年金相談窓口業務の当該業務にかかる技能を有する相談員に対する追加報酬の支給基準（令和7年2月19日制定、令和7年4月1日施行）

#### ②改正規程等

- ・委員会等設置規程（令和6年4月30日改正）
- ・慶弔規程（令和6年6月21日改正）
- ・未納・滞納会費の催促・督促に関する手続規程（同上）
- ・旅費規程（同上）
- ・会計規程（令和6年9月2日改正）
- ・役員選出基準細則（令和6年12月13日改正）
- ・講師等選任要件並びに基準（同上）
- ・支部運営要領（令和7年2月19日改正）
- ・役員候補者選出細則（同上）
- ・役員候補者選出支部要領（同上）

### 2. 運営体制の強化

当会が行う事業は年々業務量が増加していることから、令和7年度改選にあたっては理事を1名増（理事13名、監事2名）とした。また、将来にわたって安定的な財政基盤を確保するため会費引上げについて理事会で検討を行った。

### 3. 会員間の連携の強化

会員間の交流を図るため、令和6年11月17日（日）に長崎市の三菱重工体育館においてレクレーション企画「バドミントン交流会」を開催した。（参加者25名）

### 4. 各組織の活動状況

#### ①支部

- i) 県南支部：支部長 阿部高久
- ii) 県央支部：支部長 古場 章
- iii) 県北支部：支部長 末永訓弘

- ・支部長会を開催した。また、支部活動費の管理執行を行った。
- ・行政官庁等に掲示しているネームプレートの調査及び現状確認を行った。
- ・役員改選にあたり、関係規程改正のための協議を行い支部会の開催に協力した。

#### ②常設委員会

- i) 業務監察並びに綱紀委員会  
委員長 横尾忠則

委員 堀江武志、山内小百合、大坪孝聡

・要綱に定められた職務について、情報提供があった際に適切に対応した。

ii) 総務財政委員会

(担当副会長 山内小百合)

委員長 古場 章

委員 篠崎成吾、吉田実幸

・委員会を開催し、会員への情報配信・会議開催・規程の改廃・事務局の勤務環境・会計経理に係る事項等を協議・実施した。

iii) 研修委員会

(担当副会長 山内小百合)

委員長 大坪孝聡

委員 浦川聖子、榮 紀祥、馬渡友明、三浦恵理子

・委員会を開催し、研修会の企画立案・研修会当日の運營業務を行った。

iv) 広報委員会

(担当副会長 堀江武志)

委員長 萬屋隆之

委員 篠崎成吾

・委員会を開催し、広報活動や会報誌の企画検討を行った他、社労士制度推進月間事業の運營業務を行った。

v) デジタル化推進委員会

(担当副会長 堀江武志)

委員長 山内小百合

委員 塚脇盛次郎、奥村亜希

・委員2名が連合会のデジタル推進本部の委員として協力した。

vi) 学校教育推進委員会

(担当副会長 横尾忠則)

委員長 末永訓弘

委員 吉田実幸

・県内の高等学校、大学・短期大学、専門学校からの出前授業申込みに対応し講師を派遣した。

vii) 労働条件審査推進委員会

(担当副会長 山内小百合)

委員長 阿部高久

委員 才津禎一郎、長濱かおり

・連合会受託の保育施設の労務監査事業に協力した。

viii) 業務推進委員会

(担当副会長 横尾忠則)

委員長 堀江武志

委員 河崎勇之介、小玉 亨

・行政官庁や関係団体等から依頼がなされた講師・相談員・アドバイザーの推薦について検討を行った。また受託事業の運営管理について対応を行った。

③常設委員会以外

i) 役員候補者選出委員会

委員長 橋本 徹

委員 西山浩之(副)、井崎啓子(副)、佐藤研二、渋江宏紀、須藤智子

・役員改選のため会議を開催し、候補者の選出作業を行った。

④センター組織

i) 総合労働相談所・年金相談センター

副会長 堀江武志

所長 篠崎成吾

相談員 大曲義典、柴 紀祥、高橋史織、森 伸男、吉田実幸、小瀬良 清、小玉 亨

・毎週水曜日に開設する相談所において、相談対応と運営を行った。

ii) 社労士会労働紛争解決センター長崎

センター長 篠崎成吾

副センター長 吉田実幸

運営委員 山本光昭、山内小百合、大坪孝聡(弁護士)

幹旋委員 藤高由起、荒木舞子、山口 茂、岬 孝暢(弁護士)

・あっせん申立への対応、佐賀会との合同研修開催の他、長崎労働局の関係機関連絡協議会に参加した。

iii) 長崎県社労士成年後見センター

センター長 山口 茂

運営委員 森 伸男、大野くにか、藤原 剛

監 事 大曲義典

・成年後見業務の受任を目指して広報活動を行った他、センター会員を公募するなど会員向けの情報提供に努めた。

・長崎家庭裁判所からの後見人等推薦依頼への対応、同裁判所が主催する協議会に参加した。

⑤その他の機関

i) 苦情処理相談窓口

副会長 横尾忠則

担当者 山口美香

・社会保険労務士に関する苦情、相談に対応した。(令和6年度はなし)

⑥部会

年金部会

部長 小林義人

代表世話人 濱 忠

・当会会員の資質向上、年金に関する専門的知識の習得のため、2 ヶ月に一度、自主勉強会を開催した。

⑦その他

会長を代理する者

副会長 横尾忠則

以上